

議会だより

かみやま

第 24 号

2015. 2. 13

12月定例会



神山町子ども議会が
開催されました。

神山東中学校 2 学年の皆さんを囲んで



神山中学校 2 学年の皆さんを囲んで

平成 26 年 11 月 21 日
神山町議場にて

12月定例会は、平成26年12月16日から22日まで7日間の会期で開催した。提出議案は、26年度補正予算専決1件、26年度補正予算6件、条例の制定専決1件、条例の一部改正2件、変更請負契約の締結3件、議会発議案4件など17議案を審議し、すべて承認、可決、採択、決定した。

一般質問では4議員が登壇し（7～10ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成26年12月定例会議案事項	掲載頁
第1日	町長から行政報告	3頁
	条例の制定 ・中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	【上程・審議・承認】 4～5頁
	一般会計補正予算（第5号）について 一般会計補正予算（第6号）について 特別会計補正予算について （国民健康保険・簡易水道事業・介護保険・後期高齢者医療）	【上程・審議・承認】 【上程・審議保留】 【上程・審議保留】
	変更請負契約の締結 ・神山町デジタル防災行政無線施設整備工事（第2期）変更請負契約の締結について ・平成25年度中央簡易水道施設設備工事（中央配水池）変更請負契約の締結について ・平成26年度神山町簡易水道集中監視システム更新事業変更請負契約の締結について	【上程・審議・可決】 4～6頁
第3日	条例の一部改正 ・神山町国民健康保険条例の一部改正について ・職員の給与に関する条例の一部改正について	【上程・審議・可決】 4～6頁
	議員研修 講義「生活習慣病予防～野菜摂取量アップ～」	
第4日	一般質問 西崎議員 坂口議員 森本議員 木元議員	7～10頁
第7日	第1日保留議案の審議 一般会計補正予算（第7号）について	【審議・可決】 【上程・審議・可決】
	請願書について ・公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願について ・「手話言語法（仮称）」の制定を求める請願書について	【審議・可決】
	その他（議員派遣・委員会の閉会中の継続調査）	【上程・可決】

※第2日は議事日程の都合、5日・6日は休日により休会とした。

行政報告(町長)

● 27年度の予算編成について

平成27年度の地方交付税は国の概算要求は、16兆450億円です。昨年度より、8405億円の減となり、今後の地方財政はきわめて厳しい状況が予想される。

来年度には国勢調査が実施され、地方交付税の算定基準も厳しくなることから、何が必要か、何をなすべきか、よく吟味しながら、計画的な予算計上をし、健全財政の確立を念頭に組み組みたい。

● 老人ホームに太陽光発電

県事業で、県公共施設発電設備設置事業を利用して設置する。

● 職員給与引き上げについて

8月に7年ぶりの人事院勧告により、給与関係の予算計上及び関係条例の一部改正を行う。また10月より公務員も民間企業と同じく厚生年金に加入することになり給与システムの変更も行う。

● 若者定住住宅対策として

昨年度、移住者の方向けに空家改修補助制度を創設した。本年度は、現在町内で暮らしている方、Uターン者を対象に家の新築、増改築、家建築のための土地購入の場合に、助成金制度を創設する。

● 東大ネットアカデミー

web会議システムを利用し、現役東大生の講師によるライブ授業で、オンライン双方向の授業を行い、学力の向上を目指す。今年度中学3年生を対象に授業を行う。

● 学校施設の修繕を行う

地域住民の活動拠点となっている、休校中の小中学校の大規模修繕が出来ていなかったため、本年、阿川小学校、下分小学校の屋上防水工事、左右内小学校体育館修繕設計を行う。

● 災害対策について

除雪、崩土の取り除け用に、県が上分地区にタイヤショベルを2台配備する。

写真：東大ネットアカデミー



補正予算・条例制定・条例改正・契約締結

() は予算総額

平成26年度補正予算

一般会計(第5・6・7号) 補正額	1億1592万円 (50億9380万円)
国民健康保険特別会計(第3号) 補正額	172万円 (9億7771万円)
簡易水道事業特別会計(第2号) 補正額	0円 (5億8628万円)
介護保険特別会計(第3号) 補正額	115万円 (9億8766万円)
後期高齢者医療特別会計(第2号) 補正額	9万円 (1億2601万円)

予算合計	補正額	1億1888万円
------	-----	----------

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結等の主な内容	
総務課	<p>◎補正予算</p> <p>平成26年度一般会計補正予算(6号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当 500万円 ・給与システム変更作業委託料 189万円 ・ヘリポート整備工事 300万円 ・緊急避難場所設置備品購入費 211万円
	<p>◎条例制定、一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 職員の給与、通勤手当を改める。
	<p>◎変更請負契約締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神山町デジタル防災行政無線施設設備工事(第2期)変更請負契約の締結について 請負契約中「契約金額261,900,000円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額19,400,000円」を「契約金額274,720,092円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額20,349,636円」に改める。
住民課	<p>◎補正予算</p> <p>平成26年度一般会計補正予算(5号)【専決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院議員総選挙費 629万円 <p>平成26年度一般会計補正予算(6号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会委員一般選挙費 △269万円 ・知事選挙、県議会議員一般選挙費 361万円

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結等の主な内容	
税務 保 険 課	<p>◎補正予算</p> <p>平成26年度一般会計補正予算（6号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特別会計繰出金 172万円 <p>平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（3号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療費制度改正対応作業委託料 173万円 ・一般被保険者療養費 120万円
	<p>◎条例一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神山町国民健康保険条例の一部を改正する条例 被保険者が出産したときの出産育児一時金390,000円を404,000円に改める。
建 設 課	<p>◎補正予算</p> <p>平成26年度一般会計補正予算（6号・7号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県単林道工事 666万円 ・県単治山工事 181万円 ・橋りょう点検業務委託料 300万円 ・現年林道災害復旧工事測量設計委託料 400万円 ・現年林道災害復旧工事 2000万円 ・現年林道災害復旧工事測量設計委託料 500万円 <p>平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算（2号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水管修繕料 323万円
	<p>◎変更請負契約締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度中央簡易水道施設設備工事（中央配水池）変更請負契約の締結について 請負契約中「契約金額131,054,700円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額6,240,700円」を「契約金額138,216,240円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額10,238,240円」に改める。 ・平成26年度神山町簡易水道集中監視システム更新事業変更請負契約の締結について 請負契約中「契約金額116,640,000円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額8,640,000円」を「契約金額131,533,200円うち取引に係る消費税及び地方消費税の額9,743,200円」に改める。
健 康 福 祉 課	<p>◎補正予算</p> <p>平成26年度一般会計補正予算（6号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人ホーム太陽光発電設備等設置工事設計・管理業務委託料 250万円 ・老人ホーム太陽光発電設備等設置工事費 2300万円 ・老人保護施設保護措置費 379万円 <p>平成26年度介護保険特別会計（3号）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務手当 20万円

補正予算・条例制定・条例改正・契約締結等の主な内容	
産業観光課	◎補正予算 平成26年度一般会計補正予算（6号） <ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金 75万円 ・陰切り助成事業補助金 40万円 ・とくしま明日の農林水産業づくり事業補助金 102万円
教育委員会	◎補正予算 平成26年度一般会計補正予算（6号） <ul style="list-style-type: none"> ・双方向遠隔ライブ授業委託料 43万円 ・双方向遠隔ライブ授業用備品 58万円 ・小学校校舎防水工事設計業務委託料（阿川小学校、下分小学校） 119万円 ・小学校体育館屋根塗装工事設計業務委託料（左右内小学校） 76万円
議会発議案	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願について 大規模災害発生時に避難所となる公共施設のLPガス器具の常設化 ・「手話言語法（仮称）」の制定を求める請願書について 「手話言語法（仮称）」の制定を国に働きかけること。また意見書の国及び関係機関への提出 ・地域林業・地域振興の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係る意見書について ・「森林・林業基本計画」の推進に係る意見書について

消防議会

名西消防組合議会

平成26年第2回定例会

第2回定例会組合議会は、平成26年12月24日に名西消防組合消防本部で開催した。

本定例会では、条例の一部改正3件、25年度一般会計歳入歳出決算の認定、26年度一般会計補正予算（第1号）を審議し、いずれも原案どおり、承認、可決、認定した。

承認、可決、認定した議案は次のとおりである。

○名西消防組合職員の給与に関する条例の一部改正（専決）

○名西消防組合職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正

○名西消防組合火災予防条例の一部改正

○平成25年度名西消防組合一般会計歳入歳出決算

歳入総額5億6956万円、歳出総額5億5817万円、歳

入歳出差引額841万円、繰越明許費繰越額25万円、実質収支額1114万円を認定した。

○平成26年度名西消防組合一般会計補正予算（1号）

924万円を追加し4億9195万円とした。



神山町消防出初め式（1月4日）

西崎哲夫議員



- ①地域資源や全国発信できる活動等を活用した、体験型観光（小中修学旅行の受入れについて）
- ②町民の心身健康づくりの課題解決の取り組みについて
- ③バス路線の旧国道や町道沿いの個人所有管理する、生垣等の適正管理について

答弁 ①町長 ②町長・健康福祉課長 ③町長

質問 ①

神山の地域資源、活発な地域活性化活動等を活用した、体験型修学旅行の受入れについて。
 (一)県内にも海部郡3町、三好美馬地区でも取り組み事例がある。

(二)計画やメニュー作成、民泊等については、地域おこし協力隊や、過去の地域活動実績からして、本町の得意分野ではないか。

(三)交流人口対策の中でも、一過性ではなく継続した効果も、期待出来るのではないか。

答弁 (町長)

義務教育の過程で修学旅行や、授業の一環として、田舎体験をすべきではないかという思いは持っている。民泊で都会にない新鮮な体験が、出来るのではないかと思う。今後地方創生の中で、重要なポイントと思うので、前向きに検討を進める。

質問 ②

町長の心身健康づくりの質問要旨は、アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存症の患者や家族の支援強化と、依

存症からの脱却の為の、有効な対応啓発の取り組みについて。

(一)本人に心の病気であるという認識がなく、家族や周辺地域の課題ともなる、アルコール依存症は飲酒運転という、反社会的行為と表裏一体の危険もある。町内の実態と脱却のための対応策と、取り組んだ実績はどの様なものがあるのか。

答弁 (町長)

実態の把握が難しいこともあり、専門の相談窓口は置いていない。

答弁 (健康福祉課長)

特定健康診査受診者問診票では、1日当り、日本酒3合以上の多量飲酒者は1・5%であるが表面に出ているのは一部と思われる。ギャンブルについては把握していない。依存者の依存脱却の対応は専門的な対応が必要で難しい要件が多い。実績としては、特定検診による該当者に、訪問指導をしている。又啓発冊子を全戸配布している。今後は専門医を招いて講義を計画している。ギャンブル依存症で

相談があった件では、専門医へのつなぎ紹介、毎月1回の自己指導と訪問指導を、電話での相談も随時実施している。

質問 ③

バス路線の旧国道や、町道沿いの個人が所有、管理する生垣や、果樹等の公道への枝葉の張出しについての適正管理について。

答弁 (町長)

町内に、かなりの箇所指摘の実態があると思う。適正管理について、シルバー人材センターや、陰切り助成制度等々の手法紹介を含め「広報かみやま」等で啓発をしていきたい。



安全のため生垣の適正管理を

坂口一之議員



- ①木質燃料利用助成について
- ②雪害対応について
- ③小学5年・中学2年の体力測定結果について

答弁（町長、教育長）

質問 ①

神山町内で木質燃料ペレットを製造・販売する協同組合「コリキヤ」が事業を始めるようであるが、農業所得向上のため、ペレットを利用の専用ボイラービニールハウス等の設備に対して助成する考えはないか。

答弁（町長）

木質燃料の利活用についての必要性は、考えていたところである。

ペレットの製造・販売が開始されれば、加温ハウスすだちの専用ボイラー等、資機材への助成について、国・県の補助等を研究しながら進めていく。

質問 ②

今冬、県西部の三好地方では雪害で、大変困ったようであるが、このことを教訓としての対策は考えているのか。

答弁（町長）

被災状況をいち早く掌握し、適切に対処すること、そして常日頃より地域の人、消防団員、

民生委員の協力体制を確立しておくことが大切であり、自主防災組織の結成の推進に取り組んでいく。

質問 ③

小学5年生と中学2年生の体力調査が全国で実施されたが、神山町の調査結果はどうか。

また、前に実施された全国学力テストと体力調査との関連性についての考えを聞きたい。

答弁（教育長）

神山町の小学生の結果は、男子は全国平均より5ポイント高い。女子は全国平均より8ポイント高い結果となっている。

中学生男子では、全国平均より6ポイント高く、中学生女子は0・3ポイント低い結果がでている。

学力テストの全国1位は小中学校ともに福井県であり、体力調査も小中学校ともに福井県であることから、関係がないとは言いきれない。

森本吉治議員



- ① 県道の照明灯設置について
- ② 町長の任期満了後の去就について

答弁（町長、建設課長）

質問 ①

県道石井神山線の歯ノ辻地区には、住宅が続いている割に夜間の照明等が少なく、学生の通学路ともなっているため、安全面で心配である。照明灯の新設はできないものかと、要望があるかどうか。また最近の要望に対する設置数はどうなっているのか。

答弁（町長）

地元の要望に対して、応えられていない現実がある。町としても県に要望しているが、ここ数年来進んでいない。また四国電力さんが、毎年2基程度ご寄付を頂いていたが、これについても現在ない。原発が稼働していないという、社内経営状況というのもあり、町への割り当てはないという状況である。

答弁（建設課長）

現在神山町に県が管理している国道、県道に照明灯は289基あり、過去5年間で27基設置されているが、内8基は景気対

策によるもので残りは、道路改

良工事に伴うものである。現在19箇所の要望があり、県に要望しているが、1基もつけてくれないという状況であるが、今後でも要望をしまいたい。

質問 ②

町長の任期もあと3カ月となりこの4年間を振り返り、自身での評価点、また任期満了後の身の処し方について。

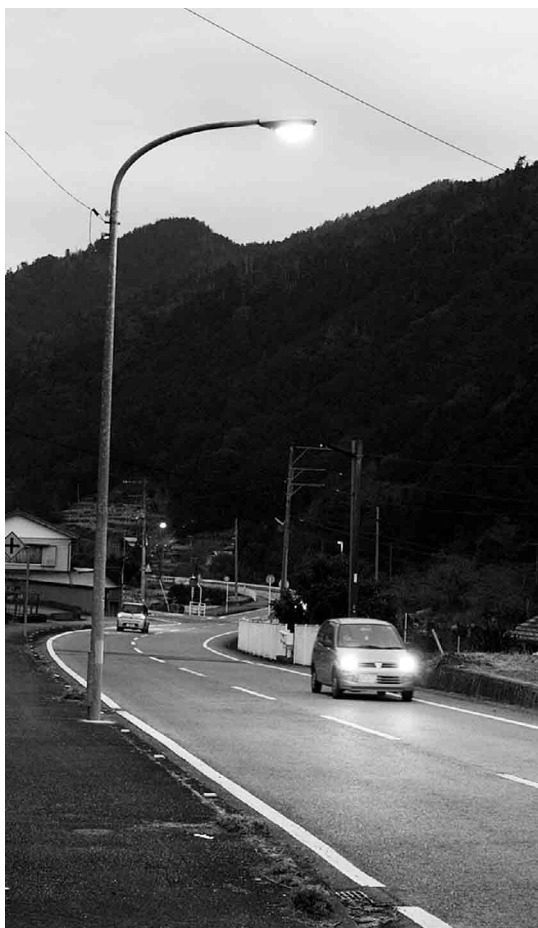
答弁（町長）

評価は、自ら申し上げるべきではないと思うので差し控えた。やり残した点は産業振興、

若者向け定住住宅等である。

産業振興については、県、JA、町とタイアップしながら進めてきたが、成果についてはまだ道半ばである。若い人の人口増として、子育て支援策とアイデアを凝らしたつもりだが、まだ足りない施策が、何点か考えられる。

若い人が集い、子供たちの元気な声のする、生産活動の盛んな神山町づくりのため、もう一度町民のため汗をかきたいと思っているため、議員各位のご支援をお願いしたい。



安全確保のため照明灯の設置が望まれる。

木元史幸議員



①移住、定住、永住策について

◎今後の小中学校体制

◎若者定住住宅建設

答弁（町長・教育長・教育次長）

質問

移住支援策によって、小学校の児童数に変化はあったのか。

答弁（教育次長）

移住支援策により増加した、各小学校の児童数は、広野小学校で全校児童数50人中1名、神領小学校は全校児童数90人中15名となっている。

質問

現在、小学校2校、中学校2校であるが、今後の学校体制をどのように考えているのか。

答弁（教育長）

広野小学校では、次年度から35名前後で推移すると予想される。神領小学校では、85名前後で推移すると予想される。

また平成30年には、神山東中学校では20名となる。神山中学校では47名となる。そのような状況下では、専門教科の先生とか、部活動に支障が現れて望ましい教育活動は難しいものと考えている。

今後の学校体制については、

学校教育検討委員会の出した、

小学校2校、中学校1校の学校体制、それから道路の整備が進んだことから、小学校1校、中学校1校で小中一貫校も考えられる。

現実的には厳しい面があるが教育委員会が主導して、中学校1校にする必要があると思っています。

答弁（町長）

小学校2校、中学校1校体制とし、可能であればどちらかを小中一貫校にすると良いのではないかと考えている。

質問

Ｉターン者・Ｕターン者を増やす、そのための町長の公約である「若者定住住宅建設」は進んでいるのか。

答弁（町長）

基本構想を策定中であり、進んでいる。若者定住住宅建設と空き家の斡旋の助成制度を活用しながら、若者の定住施策をより進めていく。

写真：神領小学校



議員研修

四国地区町村議会

議長会研修に参加して

平成26年11月7日、高知県民文化ホールに於いて第55回四国地区議長会研修会があり、相原議長、事務局長と出席した。

「日本の政治の行方」毎日新聞専門編集員、与良正男先生、「シルバークロニクル」から2年半・釣りバカ浜ちゃんの優雅な高知ライフ」南国生活技術研修所代表黒笹慈幾先生。

何故、浜ちゃんは高知に移住したのか。

一・高知のラテン的な気風、南イタリアみたいな高知に住んでみたいと思った。

二・肯定脳と楽観脳の組み合わせ、「ノーテンキな脳、脳南下症」気味。年を取ると寒いところでは脳が働かない。

高知の人は生まれながらにして、肯定脳と楽天脳を持っていて、お金がなくても悩まない。



四国地区町村議長会研修会

女性に生活力があるから、男性はのんびり他所から来た人とことん接触する。県民所得全国最下位でも動じない。ラテンの国高知。貧乏でも、貧しくないラテン南イタリア。

三・高知は定年後、釣り師にとって「毎日が釣り日和」の釣りの女神に選ばれた地である。

四・夢枕獏さんの曰く。

海よし、川よし、ほどよき文明のあつて、人生の後半戦を生きるには、実に良い所である。

高知では嫌いな人とは、口をきかなくてもいい、仕事をしなくてもいい。

定年退職とは、「嫌いなやつとは、いっさい口をきかなくてもいいパスポート」である。

定年移住は、今までの人間関係をすっぱりと断ち切る、快感がある。新しい人たちと新しい人間関係を、ゼロから作り直す楽しみがある。

高知では野菜も肉も魚も安くおいしい。生活コストも安いスーパーマーケットが断然楽しい。「国内マレーシア移住」みたいな町。

高知は東京よりも自然が近い。人間最後は土に帰るのだから、土に近いところで暮らすべき。

高知では、田舎と都会がほどよい距離で配置されている。刺激的な田舎暮らしと、都会の便利さの両方を安価に手に入れる。

先を急ぐ旅から、先を急がない旅へ。悩みを抱えた旅から刺激のある生活へ、人生を変えるのは思うほど難しくない。

先生のお話を聞いて感じたことは、「高知に一度住んでみたい」
(高橋和男)

第58回町村議会議長 全国大会に参加して

全国議会議長会（第39回豪雪地帯町村議会議長会を併せて開催）は11月12日、東京NHKホールにおいて、「町村のさらなる振興発展をめざして」をメインテーマに開催された。

開会式は、参議院議長、総務大臣、地方創生大臣等の挨拶ほか、国会議員が入れかわり立ち代わりと紹介されての開会式であった。

蓬清二全国町村議会議長会会長（香川県直島町議会議長）が国は、地方分権改革を推進するため、本年、「第4次一括法」



町村議会議長全国大会

を制定するとともに、新たに「提案募集方式」を導入したが、依然として残された課題は多く、これまでに以上にきめ細かく町村の声に耳を傾け、真の分権型社会が実現されることを強く期待するものであると述べる。

その後東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立など16の決議、道州制の導入に断固反対するなど5件の特別決議案が提案、決議された。また要望として、町村財政の強化など24案が提案決定され、四国地区の要望として、「8の字ネットワーク」の早期整備及び道路インフラの老朽化対策について決議された。

大会終了後「日本の将来―農山村と都市の共生」と題し、東京大学名誉教授大森彌氏による特別講演があった。

13日は県下16町村の議長等とともに埼玉嵐山町議会を訪れ議会活性化への取り組みの中で



嵐山町を視察

議会活性化委員会等、議会の活性化にかかる組織の設置及び活動状況等について伺った。

3日目の14日は茨城県大洗町議会、議会活性化への取り組みで、住民に開かれた議会、住民に信頼される議会を目指して7年間で取り組んだ主なもの、一問一答方式の一般質問、1日3名の一般質問、反問権の付与、1日1委員会の開催、委員会への町民の傍聴、傍聴者へのアンケート、各会議への議員の出欠席の公表、各常任委員会での係長による答弁、各年度事業の進捗状況の報告、スクリーンを活用しての一般質問等大きな成果がみられたとのことで、有意義な研修であった。（相原浩志）

議員行政視察

和歌山県紀美野町を訪問して

紀美野町は、紀伊半島の中央部西より和歌山県都市圏に位置した、面積28km²で神山町よりやや狭い、森林面積が75%、農地が10%程度の町である。

NPO法人「きみの定住を支援する会」が中心となり、地域おこし協力隊ともども町外からの移住支援に取り組んでいる。

◎定住者起業支援
手に職（技術）を持った人の

定住支援等に力を入れている。神山町の交流・定住に取り組んでいる、NPO法人グリーンバレーの実施方法とよく似ていると感じた次第である。

◎定住者の祭への参加

地域の清掃、消防団、冠婚葬祭の手伝いへの参加等、地域住民との交流をより推進することが大切であると思った。

◎産業への取り組み

産業面では、町産物の生姜、柚子、梅、小豆等を使って27品目の加工品を、加工グループ、



「りら創造芸術高等専修学校」を視察

業者（会社）、JA等で作り販売しており、六次産業化に取り組んでいる。

神山町もスダチ、梅等の町産物の生産、加工、販売の六次産業化により強力に町、JA、生産者、企業（会社）が協力していくことが大切である。

◎施設利用

紀美野町の山間に廃校舎を活用した「りら創造芸術高等専修学校（私立）」が開校しており、芸術教育を柱に芸術と地域を結ぶ教育に力を注いでいる。

その一つとして、地域で途絶えていた豊作を祈願する舞や民俗芸能の復活を学校と地域住民の協力で実施したようである。

本町も人形浄瑠璃、獅子舞、棒づき等の継承、雨乞い舞等の民俗芸能の継承・復活に行政、住民、学校、大人と子ども、老人と若者が一体となって考え、取り組むことが必要である。

本町には休校校舎が多くあることから、県内外の大学等の研



紀美野町役場美里支所での意見交換会

究機関、クラブ活動の場として利用してもらうことを、考える必要がある。（耐震工事をクリアすべき問題はあがるが。）

また本町には城西高校の分校があるが、造園土木の専門の独立校にして、全国より生徒を募集して、日本庭園の技術者（庭師）を養成するという夢を見ている。全世界へ日本庭園を広める中心地は神山からと、夢のまた夢を見ている。その実現のために協力をお願いする次第である。

（坂口一之）

日高川町

『ジビエ工房 紀州』視察

ジビエとは、フランス語で「狩猟によって、食材として捕獲された野生の鳥獣」である。

神山町内にも、たくさんのイノシシやシカが生息し、農林作物に多大な被害を与えており、こうした有害鳥獣を捕獲し食肉として利用すればジビエ料理の高級な食材となり地域の資源となるのではとの観点から今回の視察となった。

和歌山県日高川町は清流日高川沿いの町で、御坊から15分ほど山間地に入った町である。

人口10500人で、森林面積が87%と、神山とよく似た地



ジビエ工房紀州を訪ねて



ジビエ処理施設の見学

域環境である。日高川町は、サル、イノシシ、シカによる農作物の被害が年間1200万円余りに及ぶとの事であり、捕獲数もこの5年間で倍増した。対策として町内猟友会会員166名に依頼し駆除してもらっている。そうしたなか、平成22年に駆除したシカ、イノシシを食肉加工にするためとして「ジビエ工房紀州」を開所し、食材資源、観光資源として、道の駅、ホテル、飲食店、町内宿泊施設に販売している。

基本はあくまでも鳥獣対策としてジビエ工房を活用しているが、ジビエが町の特産品となる事もあわせもっていた。

（森本吉治）



神山中学校、神山東中学校の2年生を対象に、町政に関して討議する「子ども議会」が11月21日に、神山町議場で初めて開かれた。両中学校から併せて29人の生徒が出席し、議長・副議長役を除く25人が登壇した。

質問内容は、中学校の統合についてや土曜授業についてなど町政に深く関わる質問も多く、議員一同も感心するとともに刺激を受けた。今後も「子ども議会」を継続し開催していければよいと思う。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年末から今年初めにかけて、各地で大雪に見舞われました。神山町も例外なく雪の降る日が続きましたが、幸いにも大きな雪害もありませんでした。

しかしゲリラ豪雨や雪害といった異常気象の起こる中、公助、共助、自助といいますように町、地域そして各家庭でも防災意識を高め万が一のときに備え、被害を最小限に食い止める努力が大切であろうかと改めて痛感しております。

議会だよりも皆様に読みやすくわかりやすくを心がけ取り組んでおりますので、ご意見や改善点があればお問い合わせ願います。

今後とも引き続きよろしくご指導お願いいたします。(五島準介)

議会の動き

1月	2日	平成27年神山町成人式
	4日	神山町消防出初め式
2月	13日	県町村監査委員連絡協議会定期総会
	16日	勝名地区町村議会議員研修会
	27日	勝名地区町村議定会定期総会
	27日	徳島県町村議会議長会定期総会
3月	上旬～下旬	3月定例会